

不登校の児童生徒への支援は

問

多様な学びの場を確保するため学校内外のフリースクールの設置や民間フリースクールとの連携、学習端末を活用した学習支援などに取り組んでいるが、現状の課題と今後の対策は。

答

課題は、不登校児童生徒のうち、学校や関連機関などからの支援が届いていない、いわゆるどこにもつながっていない児童生徒がいることである。

今年度は、新たに3校へ、校内

フリースクールに常駐する支援員を配置するなど、体制の充実を図り、学級に位置付けない児童生徒が安心して過ごせる居場所を確保すること、不登校の未然防止に取り組む。さらに、不登校などで自宅から出ることができない児童生徒に対し、メタバースを活用しインターネット上の仮想空間に教室を設けて、教科や興味のあることを学び、スタッフや他の利用者とコミュニケーションを図ること

で社会との接点を持ち、フリースクールへの通室や学校への登校につなげていく。

誠友会



能宗 正洋
のうそう まさひろ



上下水道行政は

問

①AⅠを活用した水道管路の劣化予測診断の現状は。
②上下水道管の総延長のうち、耐用年数を経過した割合である老朽化率は。

答

①令和4年度からの3年間

で、市内全域約2800キロメートルの管路について実施している。これは、AⅠを用いた劣化診断システムに布設年度等の管路データと、人口等の環境データを機械学習させることで管路の劣化判定を行い、将来的な漏水リスクを予測するものである。

②経年化率は令和5年度末時点で水道管路は耐用年数40年を経過した延長が約880キロメートルで全体延長の約31%である。

下水道管路は耐用年数50年を経過した延長が約153キロメートルで、全体延長の約8%である。

市民病院の収支は

問

今後の見通しは。

答

福山市民病院経営強化プランにおいては、令和7年度以降の病床利用率はコロナ前の水準まで回復すると見込んでおり、昨年度の10月以降は、80%を超える病床利用率が継続している。

また、病院増改築事業を進める中で、がん診療のさらなる充実や手術室の増室などを計画しておりがん患者や高度な医療を必要とする患者が増加し、収益も着実に増

望ましい学校教育環境は

問

福山市学校教育環境検討委員会へ諮問する内容は。

答

こどもたちを取り巻く環境や、これまでの学校再編の成果と課題を踏まえ、本市がめざす学びを実現する学校教育環境についてこれまでの取り組みを踏まえた今後の学校再編の在り方、新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方、学校と家庭、地域、企業等が協働した学校運営の在り方の3つの事項を諮問することとしてい

加していくものと見込んでいる。

一方で、収益の増加に先行して増改築工事や周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等の整備に伴う消費税関係の支出が増加することなどから、当分の間、赤字経営が続くものと予測している。

このため、医療機関との連携をさらに強め、病床利用率が高い状況を維持しつつ、平均在院日数の最適化を図り医療収益を確保するなど、収支の改善に努める。



福山市民病院の新たな本館完成イメージ

る。委員会では主に、児童生徒数が減少していく中、こどもたちが多様性を認め合いながらたくましく生きていく力をつけていけるよう一定の集団規模の教育環境の整備のほか、学校施設の老朽化対策を教育環境の向上と一体的に推進していくための環境整備やコミュニケーション・スクールを基盤とした教育活動を推進するための学校と保護者、地域住民との連携や協働について検討いただきたいと考える。



学力向上プロジェクト学習支援の様子

※メタバース：インターネット上に仮想的につくられた、いわばもう1つの世界のこと。利用者は自分の代わりとなるアバターを操作し、他者と交流することができる。